



令和2年 7月3日
佐賀県立うれしの特別支援学校
ほ け ん し つ

7月の保健目標

- 熱中症を予防しよう
- 身の回りを清潔にしよう

梅雨の時期ですが、みなさん体調はいかがでしょう？
学校内ではコロナウイルスへの予防対策としての「まめな手洗い・手指の消毒・密をさけての授業・マスク着用・先生方による毎日の施設消毒」は続いています。徐々に暑くもなってきましたので熱中症にも十分注意しながら、引き続き感染予防につとめていきましょう。

マスクでの「皮膚かぶれ」を予防しよう！



原因は？

- マスクによる「むれ」
汗による「かぶれ」
- マスクの「まさつ」
- マスクの素材での「かぶれ」
- 皮膚の乾燥
- マスクの汚れによる細菌の繁殖



対策として

- 汗や水分をふきとる
 - ジャストサイズのマスクをつかう
 - 保湿性のあるクリームを塗る
 - 肌にあう素材のマスクをえらぶ
 - 周囲に人がいない時は 短時間でもマスクをはずす
- ※もし皮膚にニキビのような湿疹や赤みがあり、部分的に腫れや熱をもっているようなら早めに皮膚科へご相談ください。

★県内の感染症情報（7月1日付け）

- ① 感染性胃腸炎（県内27名）例年より少ない
- ② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（県内23名）少ない
- ③ 突発性発疹（県内16名）平年並み
- ④ 咽頭結膜炎（県内7名）例年より少ない
- ⑤ ヘルパンギーナ（県内3名）例年より少ない

※日常的に手洗いやマスク着用が浸透しているため感染症が全体的に少ないようです。
校内でも感染症は落ち着いています。

～保護者様へ～

今年度の学校での定期健康診断の結果につきましては、終了したものを随時結果表をお配りしています。「疾患 疑い」の通知があったものにつきましては早めの医療機関受診をお勧めいたします。
なお、コロナウイルスによる休校の影響で定期健診の日程が変更となっています。
感染予防のため耳鼻科、眼科検診につきましては校医と相談の上、9月実施となりますのでその旨ご了承ください。



●皮膚の痒みでの保健室利用（5月11件・6月31件）

季節から「蚊にさされた所がかゆい～」と保健室にくる児童生徒が増えています。爪で掻きすぎた場合、虫刺されの部位に「黄色ブドウ球菌」や「溶連菌」などの細菌が付き二次感染（症状：赤く腫れて熱をもち、滲出液がでる等）をおこす、いわゆる「とびひ」と呼ばれる皮膚の感染症が心配されます。虫さされでかゆがる時は、まずきれいに洗って虫刺され用軟膏を塗るか、冷たいタオルで冷やすとかゆみや腫れが軽くなります。もし「とびひ」の症状がある場合は早めに医療機関（皮膚科）へ相談しましょう。



7月下旬から8月にかけて多くなる

熱中症

～正しく知って予防しよう！～

ねっちゅうしょう
熱中症、こんな時がなりやすい！

- 梅雨あけ（急に暑くなった時）
- 湿度が高い時
- 下痢や発熱時など体調が悪い時
- 空腹の時

症状と応急処置

熱けいれん



熱失神

- 足、腕、腹の筋肉に痛みをともなったけいれん
- 脈や呼吸が速くなる
- 顔色が悪くなる
- 唇がしびれる
- めまい・失神



生理食塩水を補給し、涼しい場所で安静にさせる。



熱疲労

- 全身倦怠感・脱力感
- めまい
- 吐き気・おう吐
- 頭痛



涼しい場所に運び、衣服をゆるめ、頭を低くして寝かす。水分を補給する。



熱射病

- 異常な体温の上昇
- 意識障害
- 吐き気
- めまい
- ショック状態
- 死亡



体を冷やしながらか、できるだけ早く病院に連れていく。

【★保健室よりお知らせ】 保健室で勤務されていた梶原友香先生が

7月末で勤務期間終了となります。以下、先生よりメッセージです。

「4月から7月まで保健室でお仕事をしています梶原です。皆さんとお別れするのがとても寂しいですが、これからも元気に過ごしてくださいね！」



Thank you